

# かながわの交通

2021  
5月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (内閣総理大臣賞)  
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

## 自転車に 乗るならきみも 運転手



春の全国交通安全運動 出発式 (横浜市中区)



**道路横断には気をつけて!**

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵!** 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者  
事故  
多発!**

◎県内の交通事故発生概況 (令和3年4月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和3年		7,125	38	8,171
令和2年		6,579	54	7,657
増減数		+546	-16	+514
増減率		+8.3%	-29.6%	+6.7%

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,216,009	4,592,141	4,623,868
免許人口	5,645,714	3,213,487	2,432,227
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和2年9月1日、免許人口は令和3年3月末現在)



ホームページ

## 二輪車交通事故防止 及び 暴走族追放運動

- ◎ 期 間  
令和3年6月1日(火)～6月30日(水)の1か月間
- ◎ 趣 旨  
この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の高揚を図るとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を醸成して暴走族への加入防止と離脱の促進を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。
- ◎ スローガン  
◇ 運転に ゆとり やさしさ 思いやり  
◇ 暴走は しない させない ゆるさない
- ◎ 重 点  
○ 二輪車の交通事故防止  
○ 暴走族の追放
- ◎ 交通安全協会の主な推進事項  
○ 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。  
○ 二輪車安全運転講習会、暴走族への加入防止などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。



## 自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、主要交差点や駅頭などで各種広報啓発活動を展開し、自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーアップを呼びかけています。



## 令和3年度「自転車交通事故多発地域」

神奈川県交通安全対策協議会（会長：黒岩県知事）は、令和2年中の自転車交通事故件数の割合（構成率）が県内平均（24.4%）より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計17市区町を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

	指定地域
市	<u>茅ヶ崎市</u> 、 <u>大和市</u> 、 <u>平塚市</u>
区	<u>横浜市鶴見区</u> 、 <u>港北区</u> 、 <u>川崎市川崎区</u> ・ <u>幸区</u> ・ <u>中原区</u> ・ <u>高津区</u> ・ <u>多摩区</u> <u>宮前区</u> 、 <u>麻生区</u> 、 <u>相模原市中央区</u> ・ <u>南区</u> ・ <u>緑区</u>
町	<u>開成町</u> 、 <u>大井町</u>

※ 下線は昨年も指定

**新任の幹部紹介** 公益財団法人神奈川県交通安全協会

総務部長・交通安全活動推進部長 小島 伸治 (元警察学校長)

4月1日に公益財団法人神奈川県交通安全協会の総務部長・交通安全活動推進部長に就任しました小島でございます。

県交通安全協会として関係機関・団体の皆様のご支援ご協力をいただき、県民の皆様の交通安全意識の高揚を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



**「春の全国交通安全運動」実施結果**

春の全国交通安全運動が4月6日(火)から15日(木)までの10日間行われました。各地区交通安全協会では安全運動期間中、地元警察署等と連携し交通安全キャンペーン等において交通事故防止を呼びかけました。

また、4月5日には、神奈川県警察による「春の全国交通安全運動出発式」が横浜市中区新港「赤レンガパーク」で行われました。

期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数、死者数、負傷者数は前年の同じ時期と比べ、いずれも増加しました(下表の通り)。

子どもと高齢者の交通事故も増加しました。



◇ **県内の交通事故発生概況**

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	657 (43)	3 (0)	743 (50)
前年同期比	+206 (+17)	+3 (±0)	+213 (+22)

※( )内は、子どもの交通事故

● **全国の交通事故死者数、ワースト順位**

順位	4						全	
	1	2	3	4	5	6		
都道府県	千葉	北海道	大分	神奈川県	大阪	兵庫	福岡	全国
死者数	5	4	4	3	3	3	3	56
前年同期比	+2	+4	±0	+3	±0	±0	±0	-7

◎ 「交通事故死ゼロを目指す日(4/10)」の交通死亡事故・神奈川県 0件0人・全国1件1人



(保土ヶ谷交通安全協会)



(神奈川交通安全協会)



(川崎臨港交通安全協会)



(大船交通安全協会)

# 第11次 神奈川県交通安全計画の概要

(令和3年度～令和7年度)

## 1 「人優先」の交通安全思想

高齢者、障害者、子ども等の交通弱者を思いやり、「人優先」の交通安全思想を基本とする。

## 2 交通安全対策の効果的推進

## 3 道路交通の安全対策

### (1) 今後の道路交通安全対策を考える視点

- 高齢者及び子どもの安全の確保
- 歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上
- 二輪車の安全確保
- 生活道路における安全確保
- 先端技術の活用推進
- 交通実態を踏まえた細やかな対策の推進
- 地域が一体となった交通安全対策の推進
- 県民との連携・協働

### (2) 交通安全の施策

- 道路環境の整備 ○交通安全思想の普及徹底 ○安全運転の確保 ○車両の安全性の確保
- 道路交通秩序の維持 ○救助・救急活動の充実 ○被害者支援の充実と推進 ○研究開発及び調査研究の充実

### ※ 交通安全計画による目標

年間の24時間交通事故死者数を130人以下とする

## 自転車の幼児用座席に関する年齢制限の緩和について

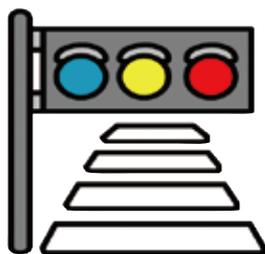
自転車幼児用座席に乗せることができる子供の年齢制限が本年4月1日から緩和されました

「幼児(6歳未満)」から「小学校就学の始期に達するまで」の者に改正  
(神奈川県道路交通法施行細則 第9条 第1号)

年齢等	5歳		6歳	
	年中	年長	小学校1年生	4.1~
改正前	○ 乗せられる	× 乗せられない	× 乗せられない	
改正後	○ 乗せられる	○ 乗せられる	× 乗せられない	

※ 小学校就学の始期に達するまでとは…「**小学校に就学する年の3月31日まで**」です。

第51回 交通安全子ども自転車神奈川県大会出場チーム募集中



子供の自転車の安全な乗り方の向上と自転車事故防止を目的として交通安全自転車神奈川県大会を開催します。



- ◎ 開催日時  
令和3年7月10日(土)午前9時から
- ◎ 場 所  
横浜武道館(横浜市中区翁町2-9-10)
- ◎ 申し込み先  
〒222-0033  
横浜市港北区新横浜2-12-15  
(公財)神奈川県交通安全協会  
TEL 045-478-0166 FAX 045-475-5524
- ◎ 締め切り  
令和3年6月10日(木)
- ◎ 大会概要、参加条件等詳細については、(公財)神奈川県交通安全協会へお問い合わせください。  
なお、今回に限り個人参加も可能とします。

※新型コロナウイルス感染症により開催中止の場合、当協会ホームページでお知らせします。

第23回 セーフティ・チャレンジ・かながわ  
無事故・無違反コンクール

- 申込期間  
2021年4月16日(金)~6月30日(水)
- コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)  
2021年7月1日(木)~12月31日(金)
- 参加要件
  - ◇ 神奈川県内に在住・在学・在勤又は仕事等のため、県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム
  - ◇ チームの全員(3人とも)が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること
- 参加区分
  - ◇ 一般チーム：年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
  - ◇ シルバーチーム：一般チームのうち、2021年7月1日現在、全員が65歳以上のチーム
- 抽選 無事故・無違反を達成したチームの中から2022年2月下旬に抽選・2月28日(月)当選発表(予定)
- 参加手数料
  - ・1チーム 2,010円(運転記録証明書発行手数料1人670円の実費)
  - ・参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。  
(1年間以上無事故・無違反の方にはSDカードも同封します。)



賞品(予定)

- 特賞 30万円分の商品券[1チーム]**
- 1等** 15万円分の商品券[3チーム]
  - 2等** 6万円分の商品券[5チーム]
  - 3等** 3万円分の商品券[15チーム]
  - 4等** 6,000円分の商品券[50チーム]
  - 5等** 3,000円分の商品券[200チーム]
- その他シルバー特別賞あり

## 交通事故の悲劇に学ぶ ⑨

### ●「過ちの車輪、償いへの轍」 医療従事者(31歳)

梅雨入りの予報が嘘であったかのような晴天の6月の日曜の昼下がりでした。

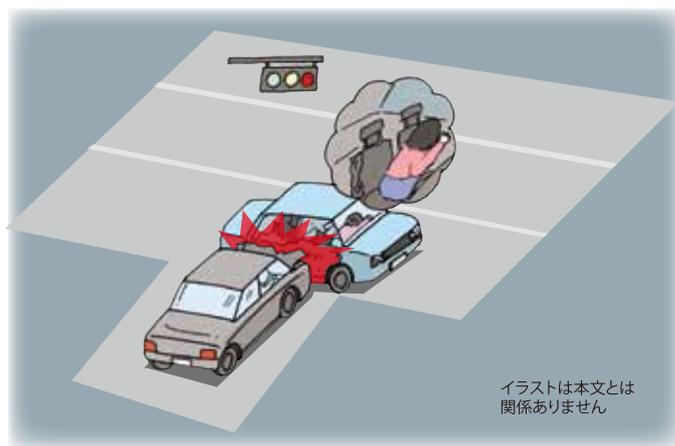
その日、私は急遽引き受けた仕事のため、初めて行く職場に向かうべく、車を走らせていました。休日返上で出勤となる自分に少し惨めな気持ちを抱きつつ、片側3車線の国道に差しかかりました。

一瞬の出来事でした。眼前にシルバーの車体のセダンが現れたのです。「あぶない!」と思い、ブレーキを踏んだのも束の間、激しい金属音とともに、視界が真っ暗になりました。訳の分からないまま、ハンドルに突っ伏していましたが、やがて自分の身体が動くことが分かると同時に、一気にとてつもなく不安が押し寄せてきました。果たして、衝突した相手の車の運転者は無事なのか、衝突のショックでまだぼんやりとした頭は一気に覚醒し、衝突した車へと身体を向かわせていました。衝突した車は衝突地点より10数メートル離れた位置で、うなるようなエンジン音を鳴らしていました。その運転席に近寄り、恐る恐る運転者を見た私は、言葉を失い、気が動転しました。一目見て重篤な状態であると分かる中年女性の身体がそこに横たわっていたのです。私は、無我夢中でその身体を抱き起こし、車の外へと出そうとしましたが、運転席側のドアは内側にめり込み、微動だにしません。駆けつけた人々と協力し、ようやく助手席側のドアから身体を運び出すことができました。そして私は救急車を呼びました。数分後、けたたましいサイレンとともに救急車が到着し、女性が運び込まれました。そして、次にその娘さんと分かる同乗者の女性もうつろな表情で救急車へと運ばれていきました。救急車を不安な気持ちで見送った後、私は初めて重大な事実気付きました。

私が衝突する間際に見た対面信号機の色、それはまぎれもなく「赤」だったのです。その瞬間、私は自分が加害者であると認識しました。間もなくパトカーが到着し、私を被疑者として実況見分が行われた後、最寄りの警察署で取調べを受けました。その頃には、自宅を出た頃と打って変わって雨が降りしきり、私の犯した過ちを際立たせる空気の冷たさを感じました。

警察署内で被害者の女性の安否を確認すると、息を引き取られたとの返事がありました。何とか命だけはという願いもむなしく、私は一人の命を奪った犯罪者になってしまったのです。自責の念や、後悔、申し訳なさ、あらゆる言葉が軽々しく聞こえる程に自分の犯した罪の重さをそのとき実感しました。事故の原因は、私の前方不注視による赤信号の見落としです。私の一方的な過失により、一つの尊い命を失わせたのです。

その後、電話を通じて、被害者のご主人様に謝罪をし



イラストは本文とは関係ありません

ました。何度も何度も謝りました。そして、葬儀、お通夜に出席したい旨をお伝えしましたが、それは叶わず、代理人を通じた手紙での謝罪も拒否されてしまいました。人殺しであると思われても仕方がないことをした男に対する感情としては当然のことだと思います。何とか償いの形をとお詫び金を受け取っていただくことができました。

しかし、後日、それは謝罪ではなく、一方的に送り付けてきたという言葉聞き、お詫びの意味をなさないものだと分かりました。

そして、迎えた裁判の日、私に禁固刑の実刑判決が下されました。社会生活を続けながらの償いを望む気持ちが強くありましたので、茫然自失となりました。そして、刑務所で過ごすことへの不安も少なからずありましたが、何よりも尊い命を奪った者であることに加え、受刑者のレッテルを背負うことに恐れを感じました。

職場を解雇され、生きる気力を失い、あの時私が死ぬべきであった、いっそ野垂れ死んだ方がまだ、と自暴自棄な日々を過ごしているうちに収監の日が訪れました。

そして今、私は市原刑務所で受刑生活を送っております。日々、自身の犯した罪を振り返り、同じ過ちを繰り返すまいと誓う毎日です。そして、被害者の方のことを想い、手を合わせ拝み続けることと、御遺族の心情の理解に努め、償いの在り方を模索する日々です。また、私自身の家族へ心配を掛けぬよう今後の生き方を考えることも必要です。

この刑務所での一日一日を大切に過ごし、社会復帰後も永遠に続く償いの道への礎を築きあげなくてはなりません。出所後は、加害者、元受刑者として社会に交通事故防止の啓発を働き掛ける立場にありたいと願っています。

私の犯した罪は、過ちの車輪となり、永遠に廻り続けます。償いへの轍を刻みながら。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第55集)」から～

### インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 ————— 6月中
- グッドライダーミーティング ————— 6月12日(土)運転免許センター
- 第12回 評議員会・第35回 理事会 ————— 6月22日(火)県安協会館
- 二輪車安全運転講習 ————— 6月26日(土)運転免許センター

この人

181



大和綾瀬交通安全協会  
会長  
古郡 保正さん  
ふるごおり やすまさ



今回は、大和綾瀬交通安全協会会長の古郡保正さんを事務局から紹介させていただきます。

古郡会長は、昭和45年4月綾瀬市内に幼稚園を開園され、現在は、理事長として幼児教育に当たっています。交通安全に関心を持つようになられたのは、交通量が多い道路を保護者に手をとられ通園する園児の姿を見て、「交通の危険から守ってあげたい」と思ったことからでした。

その思いは、昭和50年4月に交通指導員になり、現場で交通安全活動を実践するようになりました。昭和61年には当協会理事、平成13年6月から第10代会長に就任され、他にも多くの公職を兼ねながら、持ち前のバイタリティと旺盛なボランティア精神を発揮されご活躍をしています。

その一例として、「ハンドルキーパー運動」という言葉が馴染み薄い頃、同運動の周知徹底を図るため地元警察と連携し飲食組合等に交通安全の意識付けを醸成、更に、

安全運転管理者会を通じ事業所における広報啓発活動の働きかけを推進され、街ぐるみで「飲酒運転根絶」気運を高めました。今では年末になると、ハンドルキーパーバッチ等を求める事業所が多くなりました。

各種交通安全活動に対しては、マンネリ化を防止するため見える交通安全協会を念頭に、豊富な経験に裏打ちされた斬新なアイデアを提案し警察等関連団体との連携を惜みず、熱心かつ精力的に活動をしています。地元住民や関係機関・団体からの絶大な信頼を得て、これまでに交通安全功労のほか他部門でも多くの権威ある賞をいただいています。

人柄は、温厚・誠実で義理人情に厚く人間味に溢れ気配りもきめ細やかで、周りの人を大切にしながら円滑な協会運営に尽力されています。今後も健康に留意され、末永く交通安全活動をリードしていただきたいと願っています。

(取材協力：大和綾瀬交通安全協会)

こんにちは  
(一社)幸交通安全協会です

幸交通安全協会は昭和39年に御幸交通安全協会として発足した後、幸交通安全協会と名称を変え、平成23年2月に幸警察署の隣に新事務所を移転し、併せて法人化し、一般社団法人幸交通安全協会として新たにスタートして現在に至っております。

管内の人口は171,000人と多いのですが、新しく区民になった方も多く、地域の交通安全に対しては希薄な面が見受けられるところがあります。

運転免許保有者が高齢化する昨今、高齢者の運転免許返納が増加する中、即日交付の川崎警察署での免許更新者が多いことか

ら、年々、当協会の免許会員が減少し、また、会社事業所の移転等から賛助会員も同様に減少しており、入会者を増やすため声かけの実施と協会委役員等による賛助会等への入会の働きかけを実施しております

が、減少幅が多く厳しい状態が続いています。事務所は事務長とパート1名の2人体制で業務を行っております。

当協会では、毎月の交通安全日などの交通誘導活動をはじめ、各季の交通安全運動期間中には、交通安全キャンペーンに積極的に参加し、早朝の街頭監視、当協会役員と幸警察署幹部によるパトカーでの管内の督励、広報車によ



る広報活動を実施しています。

交通事故の発生は減少傾向にありますが、幸区から悲惨な交通事故を1件でも減らすため。幸警察署、幸区役所、各関係機関・団体が一体となって交通安全活動を推進してまいります。

(鍋島 記)

